

価値創出プロジェクトへのアプローチ

チャレンジ目標を設定

5年間の目標

1年間の目標として設定

実施計画から毎年ピックアップ

目指す姿

チャレンジ目標

目玉事業

1 誰もが活躍する
共生のまち

- ① (共生) 全公共施設へユニバーサルデザイン導入
- ② (障がい福祉) 農福商連携の実現
- ③ (高齢者福祉) ○○を実施
- ※ 関連する施策から3つ程度チョイス

ユニバーサル○○事業
共生○○事業
障がい○○事業
高齢者○○事業

2 選ばれ続ける
まち、安曇野

- ① (移住定住) オーダーメイド移住ツアーを開始
- ② (子育て) 全民営園でのあづみの自然保育の普及
- ③ (労働・雇用) 市内企業の合同就職説明会を開催

○○事業
○○事業
○○事業
・チャレンジ目標を達成
するための手段

3 AZUMINO
ブランドの発信

【設定の目的】
①5年間、市は目指す姿に向かってこんなチャレンジをします、
してきました、という姿勢を市民にわかりやすく示すため
②総計は策定して終わり、職員ですら知らないという課題があ
る。これを解消するため、毎年総計を意識する仕掛け＝「総計
を更新し続けていく要素(チャレンジ目標)」を組み込む

・実施計画で設定する重
点事業の中から、1～3
程度ピックアップ

4 文化・芸術
中核都市の実現

【概要】
・「目指す姿」に資する内容とする
・「目玉事業」とリンクしたものにする
・定性目標、定量目標は問わない。目標に届かずとも、前進が
見られればOK (高めの目標を設定し、挑戦する姿勢を重視)
・目標は5年分固めずに毎年更新、再チャレンジも可とする
(柔軟性を重視)

・特別に新事業を設ける
のではなく、実計の中か
ら見せ事業として選定

5 アウトドア・
スポーツの聖地

- ① (健康づくり) 健康づくりトレッキング教室の開催
- ② (観光振興) 事業者と連携したアウトドアイベント開催
- ③ (アウトドア) リバーパーク構想策定
- ※ R5から質問項目を新設

○○事業
○○事業
○○事業
○○事業

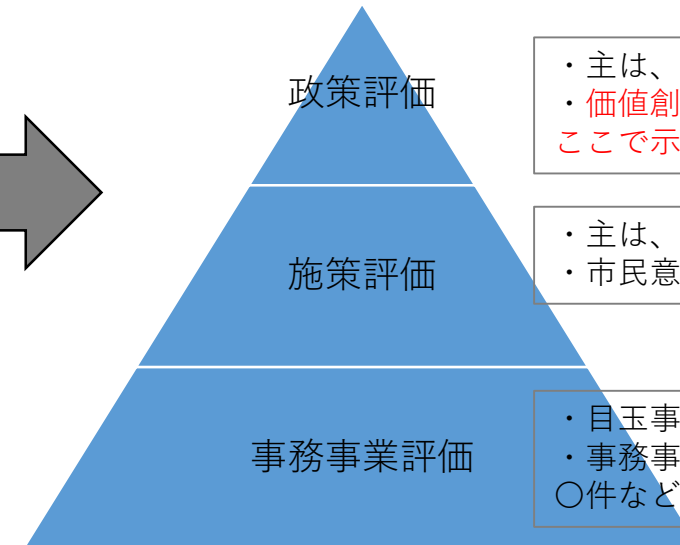
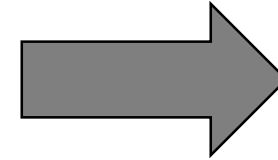
進捗評価

チャレンジ目標（内部評価）＋市民意見（外部評価）で評価

毎年確認

成果指標① チャレンジ目標

行政評価における政策評価（総合評価）で達成度合いを評価する



・主は、基本施策の積み上げから基本目標を評価
・価値創出PJの進捗（チャレンジ目標＆複合満足度）をここで示す

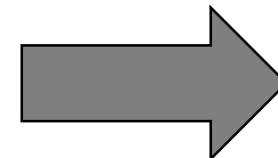
・主は、事務事業評価の積み上げから基本施策を評価
・市民意識調査の満足度もこの評価に属する

・目玉事業（実施計画事業）はここで評価
・事務事業レベルの指標は、取組指標（セミナー開催数〇件など）とし、成果指標との混同を避ける

毎年確認

成果指標② 複合満足度

市民意識調査の満足度のうち、PJに特に影響が大きいものを4つ選定し、定量的な満足度の平均値（複合満足度）を毎年追う



誰もが活躍するまちの推進
複合満足度
（平均満足度）

多様性の満足度

男女共同の満足度

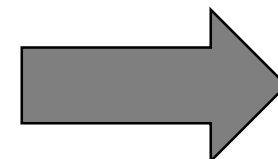
障がい福祉の満足度

高齢者福祉の満足度

R10に確認

成果指標③ 市民の考え

市民意識調査でプロジェクトの実績を紹介しつつ、成果をストレートに問う



（例：これまでの5年間、市は「アウトドア・スポーツの聖地」に向けて〇〇などに取り組んできました。この取組について、あなたはどう感じますか？
⇒評価できる、やや評価できる、どちらでもない、あまり評価できない、評価できない
といった段階評価を想定